

～温室の花栽培～



↑ 栄養をつばみに送るよう脇芽とりをする生徒

能代西高校の校内には、花を栽培するためのハウスがあり、1年を通して生徒たちが花の栽培管理を行っています。ハウスにはシクラメンやプリムラなど様々な花が栽培されており、校内の花壇を彩るほか、西高祭や産業フェアなどでも販売されています。

特に人気のあるシクラメンですが、その栽培管理は徹底しています。シクラメンは陽ざしに弱いので、遮光をして環境を整えるほか、20℃以下の環境が適温で、扇風機2台を使って風を循環させるなどしています。このような栽培のおかげで、西高のシクラメンは毎年見事な花を咲かせます。

また、現在は課題研究発表会に向けて食べることでできる花「エディブルフラワー」の栽培にも取り組んでいます。12月に花が咲く予定で、ババロアや春巻きにして試食する予定になっています。



←ポット管理も行います



←4種類のシクラメンを栽培しています

～PTA交流会を開催～

能代西高校主催のPTA交流会が11月27日に開催され、能代市内の4高校と秋田市や男鹿市の高校のPTA会員など約40人がそば打ちの体験をしました。使用したそば粉は、7月に種をまき、10月に収穫したもので、石川そばの福士正信さんを講師に招きそば打ち体験が始まりました。

参加者は4～6人が1グループとなり、こねる作業や生地を伸ばす作業などを分担して行いました。作業の途中では、生徒がアドバイスをする場面もあり、参加者は熱心その話を聞いていました。出来上がったそばは、藤里町の山葵と京都の一味を薬味にして皆さんでおいしく味わいました。



→全員で協力して作った「だまこ鍋」



～収穫感謝祭～

収穫の秋となり、能代西高の農場でも様々な収穫物がありました。3年生の生徒達は、収穫したねぎや比内地鶏、5月に全校田植えをした稲を収穫し、その新米などを使って『だまこ鍋』を作りました。材料を切り、「だし」をとり、だまこを作るなど、ほとんどの作業を生徒自ら行いました。

自分たちが手塩にかけて育てた農作物、それを自分たちの手で調理したのであればおいしくないわけがありません。その味は格別で笑顔の絶えない収穫感謝祭となりました。